



第 62 回全日本トランポリン競技選手権大会

実 施 要 項

主 催	公益財団法人日本体操協会
共 催	熊本県体操協会 熊本市体操協会
後 援	熊本県 熊本市 熊本県教育委員会 熊本市教育委員会 (公財)熊本県スポーツ協会 熊本市スポーツ協会 熊本日日新聞 九州体操協会 九州トランポリン連盟 西南ロータリークラブ
協 賛	株式会社インテック ミズノ株式会社
期 日	2025 年 10 月 17 日 (金) ～ 10 月 19 日 (日)
競技日程	10 月 17 日 (金) 団体別割当練習・審判本部会議 10 月 18 日 (土) 審判会議・開会式・個人予選 1・シンクロ予選 10 月 19 日 (日) 個人予選 2・シンクロ決勝・個人決勝・表彰式・閉会式
会 場	ナースパワーアリーナ (熊本市総合体育館・青年会館) 〒862-0941 熊本市中央区出水 2 丁目 7 番 1 号 電話: 096-385-1010
競技規則	公益財団法人日本体操協会制定「2025 年度版トランポリン採点規則」に則る
競技方法	個人競技 (予選 2 を採用する) <ul style="list-style-type: none">予選 1 は自由演技を 2 本行い (上位の点数を採用)、上位 24 名が予選 2 に進出予選 2 は自由演技を 1 本行い (0 点スタート)、上位 8 名が決勝に進出決勝においては自由演技を 1 本行い (0 点スタート)、決勝の得点で順位を決定 シンクロナイズド競技 (予選 2 は採用しない) <ul style="list-style-type: none">予選は自由演技 2 本を行い (上位の点数を採用)、上位 8 ペアが決勝に進出決勝においては自由演技を 1 本行い (0 点スタート)、決勝得点で順位を決定 団体競技 <ul style="list-style-type: none">個人競技の予選 1 の点数を採用。自由演技 1 の上位 3 名の点数、自由演技 2 の上位 3 名の点数を合計し順位を決定。決勝は行わない
使用器具	FIG 認定器具 ユーロトランポリン (4mm x 4mm テープベッド) FIG 公認 HDTS オールインワン測定システム (Eurotramp 社製)

表彰 優勝: 優勝杯・賞状・メダル / 2位、3位: 賞状、メダル / 4位～6位: 賞状
※表彰式は1位～3位までとし、4位～6位については大会終了後に授与します

参加資格 第62全日本トランポリン競技選手権大会の予選を通過した男女それぞれ65名
<https://is.gd/Hvifxd>

参加料 個人競技 15,000円/人 シンクロナイズド競技 15,000円/ペア
団体競技 5,000円/チーム
※シンクロナイズド競技は、予選会にて選出された選手同士でのペアとします

申込方法

- <https://jga-web.jp>にて申込を行ってください
- 第1申込
 - 予選通過者65名のみ申込を行ってください
- 第2申込
 - 第1申込終了後に65名に達しなかった場合、男女それぞれが65名になるまで繰り上げしますので、専用ページにて申し込みを行ってください

<注意事項>

- 第1申込、第2申込を通じて65名を決定し、その後リザーブ5名)を決定します
- 予選当日であっても、棄権が発生した場合、会場にいるリザーブ選手は優先順位に従ってマーチイン10分前まで参加する権利を得ることができます。そのため、怪我などで参加できないことが分かった場合は、大会開催前であっても速やかに大会運営委員会までお知らせください
- シンクロナイズド競技の申込方法については、各ペアで1つ使用し、以下に従って入力してください

入力例

- 性別<全角スペース>選手名 01<全角スラッシュ>選手名 02<全角スペース>クラブ名

例1	同じクラブ同士のペア	男子 <u>協会太郎</u> ／ <u>協会次郎</u>
例2	他クラブとのペア	女子 <u>協会華子</u> ／ <u>協会花子</u> <u>日本トランポリンクラブ</u>
例3	他クラブとのペアで ダブルネーム	女子 <u>協会華子</u> ／ <u>協会花子</u> <u>体操協会クラブ</u> ／ <u>協会大学</u> ※前の選手のダブルネームは個人の時に記載しておく ※後のクラブ名は他クラブ選手のダブルネーム

受付期間

第1申込：2025年9月13日(金)～21日(日)

第2申込：2025年9月22日(日)～24日(水)(繰上選手用)

※原則、繰上選手は9月22日(月)8:00amまでに協会の大会情報ページにて公開しますが、それまでに棄権が出た場合には都度掲載をします。

振込期限

JGA-Web の支払い期限に合わせて支払いを完了してください
※期限までに振込がない場合は、参加申込書が無効となります
※期限以降の変更による大会参加費の返金はいたしません

プログラム用 顔写真

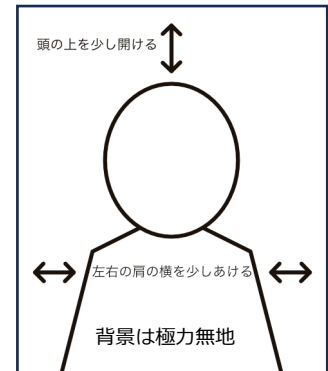
本大会のプログラムには、参加選手全員の顔写真を掲載しますので、以下のリンクよりファイルを送信してください

第 62 回全日本 顔写真送信リンク

<https://is.gd/R1xMsD>

締切: 9 月 21 日 (日) (繰上選手は 9 月 24 日 (水))

- 極力最新の写真で、顔だけではなく胸から上の写真
- 実際の証明写真サイズよりも大きなサイズ
 - 引伸ばしにより画像が荒れないこと
- スマホは写真の解像度が高いため、できる限りスマホでの撮影を推奨
- ファイル名は「**所属団体名_選手名**」を日本語で入力ください (パソコン)
例) 体操協会クラブ_日本太郎.jpg (アンダースコアで区切ってください)



撮影許可証

ビデオ撮影およびカメラによるスチール撮影につきましては、各団体に最高 2 名分の撮影許可をいたします。ただし、1 名が 2 台以上の機器を同時に操作しての撮影は禁止します (許可証 1 名分につき 1 台とします)。
※大会当日の撮影許可証の新規作成・再発行とも行いませんのでご注意ください

帯同審判

本大会出場選手の所属団体は、以下の内容に従って公認審判員 1 種 (国際審判員を含む) の帯同のご協力をお願いします

※ 1～10 名の参加選手がいる団体: 1 名

※ 11 名以上の参加選手がいる団体: 2 名

帯同できない場合、運営本部において審判員を依頼しますので、選手 1 名につき 5,000 円の負担をお願いします。

※ 11 名以上の団体で 1 名のみ帯同できる場合、10 名分の帯同審判料を免除
(例 選手 15 人 帯同 1 名の場合: $15 - 10 = 5$ 名 \times 5,000 円 = 25,000 円)

※ 11 名以上で 2 名の審判を帯同する場合の帯同審判料はすべて免除

帯同審判は予選・決勝を含む期間 (2 日間)を通して従事できる方に限ります。帯同審判員は、2025 年以降本会主催・共催大会での審判実績の保有者もしくは、公認審判員講習会・研修会(国際体操連盟主催のものを含む)を受講した方のみとさせていただきます。他の参加団体が帯同している審判員を帯同することはできません。依頼の際は必ずご本人に確認をして下さい

AD 申請

2024 年度より、全日本選手権における「指導スタッフの資格義務づけ」により、競技エリア（ウォームアップエリアを含む）で指導を行う場合、「日本スポーツ協会 公認コーチ 3 以上（以下、JSPO 公認コーチ 3）」の資格が必要となります。これまでの「JGA 公認トランポリンコーチ資格（JGA コーチ資格）」のみを有する方に対し AD 発行はいたしますが、競技エリアには入場することはできません。また、スポッターであっても競技エリア内にて指導を行う場合には JSPO 公認コーチ 3 を有していることが必要となりますので、主旨をご理解いただき各所属団体でも周知徹底をお願いいたします。

- AD カードは一人 1 枚のみ発行ですので以下に従って申し込みをしてください
 - 大会に参加している選手は申請しないでください
 - スポッター、トレーナーは指導者登録が必要です

役 職	枚数	備 考
監督 コーチ	2	「JGA コーチ資格」を有する者で、各所属団体に対して 2 名分発行します。ただし、「JSPO 公認コーチ 3」の資格を有する者のみ、所属選手の演技グループごとに競技エリア内に入ることができます
選 手	1	出場選手数を発行します
スポッター	2	「JGA コーチ資格」を有する者、または「所属での指導者登録」を完了している者で、所属選手の演技グループ毎に競技エリア内に入場できます。ただし、「JSPO 公認コーチ 3」の資格がない場合は指導できません。男女選手がいる場合は 4 枚発行します
トレーナー	1	「所属での指導者登録」が完了している者で、 <u>医療関係者、資格所有者、または日常的にトレーナーとして従事している方で、治療、応急処置ができる方に限ります</u> 。競技中は指定場所で待機し、治療などを要する場合は指示に従って選手への対応をしていただきます。男女選手がいる場合は 2 枚発行します

- 現状、スポッターについては競技エリアには入ることが可能ですが、指導を行うには資格が必要であること、また、2026 年度以降での大会では資格取得が必要となる予定です

ドーピング
検査について

1. 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です
2. 本競技会参加者(18 歳未満の競技者を含む。以下同じ)は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール 手続の対象となることに同意したものとみなします。18 歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。
3. 本競技会に参加する **18 歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯**して下さい。親権者の同意書フォームは、
日本アンチ・ドーピング機構 (JADA) のウェブサイト
(<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>)からダウンロードできます。18 歳未満の競技者はドーピング 検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出して下さい。なお、親権者の同意書の提出は 18 歳未満時に 1 回のみで、当該同意書の提出後に 再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出て下さい。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後 7 日以内に JADA 事務局へ郵送にて提出して下さい。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします
4. 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合 には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意して下さい
5. 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後 2 時間の安静が必要となるので留意して下さい。
6. 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<https://www.playtruejapan.org>)にて確認して下さい

- 大会保険
怪我について
- 協会の費用負担にて、参加選手に対して練習日午前9時以降、競技終了までスポーツ傷害保険をかけます
 - 発生した傷害の補償についてはスポーツ傷害保険の範囲とします。
 - 競技中の疾病、負傷に対する応急処置は主催者側で行いますが、その他の責任は負いません
 - 保険適用内での怪我などが発生した場合、必ず救護にて必要書類を提出してください。提出がない場合、後日怪我などの報告をいただいても対応しかねますので、十分ご注意ください
 - 大会参加者は健康保険証を持参してください

演技写真撮影
について

本大会は記録のため写真および映像を撮影します。協会が定める競技者規定第8条に従い、各選手の肖像利用に関しては大会参加申込みにより了解を得たものとします。また、出場選手の記録のため、写真販売業者が撮影した画像を出場選手とその関係者に限定して販売を行います。業者は決定後参加者に連絡いたします。また、大会期間中、総務委員会へこの事業への不参加を申し出て、関係者を含め、一切の自身の演技写真掲載や利用を禁止することができます

お願い

大会要項掲載時点、または申込締切までの間に、すでに棄権を予定している選手については（引退、怪我など）、出来る限り早めに以下のリンクから棄権のご連絡をお願いします。早めにご連絡いただくことで繰り上げ選手が準備を進めることができますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

なお、申込締切前のこの棄権申請については、紙での棄権届の提出は必要ありません。

<https://forms.gle/ZTYj7MciC7h6Hfjn6>

- お問合せ
- メールでのみ受け付けます。お返事までに数日いただくことがありますのでその旨ご了承ください
 - 携帯のメールアドレスからお問合せの場合、以下のアドレスからメールを受け取れるよう設定してください

公益財団法人 日本体操協会 大会運営委員会（トランポリン）

trampoline@jpn-gym.or.jp